

お口の健康情報室

私たちは食べる時、食べ物を視覚や嗅覚で認識しています。口まで運んでかみ、舌や頬を使って口の奥から喉へと送ります。さらに、脳からの指令で食道から胃まで送り込みます。こうした一連の動きは普段、意識することなく行われていますが、何らかの原因によって正常に機能しなくなること

「摂食嚥下障害」に注意

があります。こうした状態を「摂食嚥下障害」と呼びます。

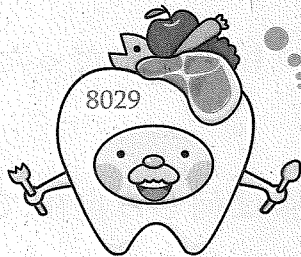
先天性の疾患や早食い、ため込み食べなど、様々なことが原因で起こります。脳血管疾患による障害や加齢による運動機能の低下も原因となります。

放置すると、窒息や栄養状態の悪化、気道に食べ物や唾液が誤って入ることで起きる「誤嚥性肺炎」につながります。全身に影響を及ぼす恐れがあります。

むしろ▽口から食べ物がかくこぼれる▽食事に時間がか

かる▽口の中が乾燥している▽舌が汚い——といった気になる症状がある場合は、早めにかかりつけの歯科医に相談してください。

(千葉県歯科医師会)



「8029運動」PRキ
ャクター もべい